



激しい社会の変化に主体的に向き合う子どもたちに

残り僅かとなった1月のカレンダーを見るにつけ、時の流れの早さを感じる今日この頃です。3年生のみなさんは、いよいよ入試が始まり、それぞれの進路の実現に向かって、より一層前向きに挑戦しています。春は出会いの季節、そして、別れの季節とも言われます。先日は生徒会が「全校遊び」を企画し、残り少ない学校生活となった3年生と和やかな時間を過ごしていました。

さて、幼い頃（昭和30年代）のブラウン管のテレビ画面には、「鉄腕アトム」をはじめ近未来の世界が映し出されていました。まさか、テレビ電話が実現し、ポケベルがスマホに替わり、そのスマホで様々な買い物や予約ができる時代が到来するとは、夢にも思いませんでした。また、AI（人工知能）が人を凌駕するその功罪や地球にやさしくしなかったツケが招いた異常気象、高齢化社会による社会の仕組みの変化など、急激な変化には不安要素がつきまといまいます。このように、これ

から先の急激な変化は予想ができず、予測困難な時代とも言われますが、山積した課題を嘆くだけでは、光は差しきません。したがって、膨大な情報から大切なことを見出し、前向きに生きる未来志向型の人求められています。多少のことに一喜一憂せず、問題を柔軟に受け止め、強（したた）かで、たくましく生きぬく力が必要です。そこには、人類が得た恩恵と失った物を客観的に認識して、変化に主体的に向き合い、困難を打開していく子どもたちの姿が見えてきます。

中学校では、平成33年から新学習指導要領の完全実施になり、「主体的・対話的な深い学び」を核とした教育を推進していくため、この準備・研究を鋭意進めているところです。この「主体的・対話的な深い学び」の語尾が「学習」でなく「学び」と表現されているところに、学習の主体である生徒の学び方や学ぶ姿勢を重視していることが垣間見えます。



教育活動のご紹介

〈学校保健安全委員会・小中合同講演会で姿勢の大切さを学ぶ〉

1月22日（火）、姿勢を整えることをテーマに様々な分野でご活躍中の和泉さゆり先生をお迎えし、スライドを拝見しながらのお話や音楽に合わせたエクササイズを体験しました。先生は、看護師の経験や様々な資格をおもちで、姿勢が変わるとなぜ運動や集中力、健康に良い影響があるのか、とてもわかりやすくご教示いただきました。

日本人は運動不足と言われてはいますが、自分の健康を改めて見直す貴重な機会をいただきました。



〈1月の学習の様子〉



いのちをテーマにした保健指導



柔道の学習（保健体育）



タブレットPCを活用したディベートマッチの準備（国語）
※ディベートマッチは2月8日に実施予定です。



辻本小学校長先生の出前授業(社会)

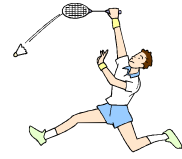


モーニングテスト

〈山口市近郷中学校バドミントン大会〉

1月20日に標記大会が開催されました。本校バドミントン部は、3年生の引退以来、1年生が跡を継ぐべく熱心に練習してきました。標記大会は学年別に分かれて開催され、同学年で日頃から鍛えた技を競い合うことができます。優秀な成績を納めておりますのでご紹介します。

1年男子 シングルス 優勝 蔵行 真壮
 ダブルス 準優勝 安田 丞秀・安田 匡伸
 1年女子 ダブルス 3位 上村 紗紀・松田 芽依
 ※敬称略



来たるべき4月の山口市中学校春季体育大会まで、2ヶ月半となり、各部では一層練習に熱が入ることと期待を寄せているところです。



	質 問 内 容	2学期 平均	1学期 平均
1	生徒は楽しく学校に通っている。	3.1	3.3
2	授業参観した様子では、工夫しながらわかりやすい授業が行われていた。	3.0	3.0
3	家庭学習の習慣は定着している。	2.6	2.8
4	生徒は、家庭・地域では明るい挨拶をしている。	2.9	2.9
5	生徒は、教師やスクールカウンセラーに悩みを打ち明けやすい関係が築けている。	3.1	3.1
6	勤労生産学習や社会参画プログラム、ふるさと探訪など、豊かな体験学習が実施（予定）されている。	3.5	3.4
7	学校保健委員会や救急法の実習など、小中合同による健康教育を推進している。	3.4	3.4
8	「お弁当の日」は、生徒がお弁当をつくり、片付けるまで自分でできた。	2.7	2.8
9	生徒は、目標をもって部活動に参加し、意欲的に取り組んでいる。	3.3	3.1
10	学校・家庭・地域が一体となって地域の子どもを育てていくコミュニティ・スクールの取組を推進している。	3.3	3.2
11	地域の方の協力を得ながら、ふるさとの自然や文化を生かした学習を行っている。	3.4	3.3
12	学校だよりや諸通信、ホームページ、メール等により、情報発信に努めている。	3.2	3.2
13	幼稚園・小学校・中学校・総合支援学校の交流学習や参観日・教育講演会の合同開催等により幼・小・中の連携が図られている。	3.3	3.2

